

モーター一棚最下段出庫時の腰痛防止

重量物取り扱い時の上限値

<社内基準>

男性: 20kg

女性: 12kg

既往者: 8kg

押す引く力の上限値

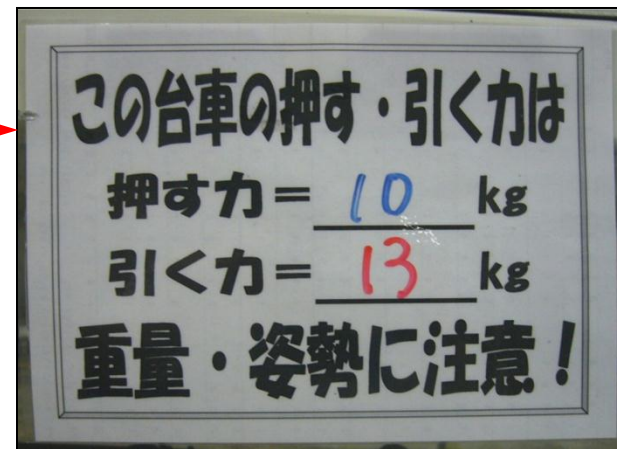
<社内基準>

男性: 30kgf

女性: 20kgf

既往者: 12kgf

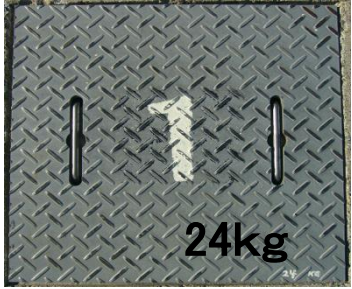
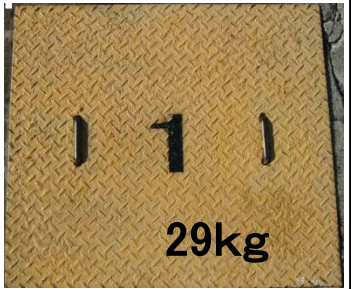

当課にはこのような
台車が数百台ある



各種モーターの大物品(ホイスト使用)は台車管理をしているが、1台に何個ものモーターを載せていると取り出し時や収納時に腰痛の恐れがある。

そこで社内基準の押す引く力の上限値を調査し作業可能重量を青文字で、範囲外は赤文字で表示し作業者に適応した上限値の見える化をした。

鉄製蓋持ち上げ時の腰痛対策

油水分離槽の蓋		点検風景
〈ガソリンスタンド〉  24kg	〈ドラムプラット〉  29kg	

【使用方法図解】

吊り上げ治具写真



①蓋の取っ手にフォークを挿す



②ドラムポーターで治具を上昇させ、蓋を持ち上げる



③ドラムポーターを後退させ蓋を安全な位置に降ろす



当課で管理しているガソリンスタンドなどでは油水分離槽の点検をしているが、その蓋（鉄製）が大変重く持ち上げる際、腰痛などの災害を起こす恐れがある。
そこで空ドラム缶に改良を加え、吊り上げフォークを設置し、ドラムポーター（※）と組合わせて分離槽の蓋を持ち上げるようにした。
結果、重量物取扱いが女性や腰痛既往者でも楽に作業ができるようになった。

※ドラムポーター＝ドラム缶を持ち上げる器具